

### 第43回新生ふくしま復興推進本部会議

○日 時：平成27年8月3日（月）9：30～9：45

○場 所：第一特別委員会室（本庁舎2階）

#### 【畠副知事】

ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議を開催します。

早速、議題1「平成28年度国の予算に向けた取組について」、企画調整部長から説明してください。

#### 【企画調整部長】

資料1-1をお願いいたします。

「平成28年度国の予算に向けた取組」ということで、スケジュールを記載しております。年末の政府予算案閣議決定及び税制改正大綱閣議決定に向け、今月末に政府予算概算要求・税制改正要望をしていきますので、それに先立って、本県として予算化すべきものについて国に求めていく必要がございます。

まず、6月12日に「国への提案・要望」を行ったところですが、毎年この時期に福島特措法に基づく福島復興再生協議会がございますので、現在そこに向けた検討を深めているところでございます。

その内容については、資料1-2をお開きください。

特に訴えるべき視点として右側に5つほど記載しており、その背景を現状・課題として左側にまとめております。

まず、現状・課題の1点目として、先般提言が取りまとめられた「福島12市町村の将来像」の実現に向けた予算を国に対して要望・要求していかなければなりません。これについては、「避難地域の復興加速化」ということで、将来像の実現のための予算確保や推進体制の整備、再生加速化交付金等の対応や改善要望などを特に訴えるべき視点として右側に記載しております。

2点目、「イノベーション・コースト構想」につきましては、6月1日の推進会議で取りまとめを行っております。更に、政府の「骨太の方針2015」の中にも、本県のイノベーション・コースト構想を盛り込んでいただいておりますが、その具体の予算化を求めていかななくてはなりません。

3点目、「震災前の水準を未だに回復していない産業・風評の継続」につきましては、「産業復興の加速化」といたしまして、重点産業である再生可能エネルギー・医療・ロボット等のほか、企業立地補助金やグループ補助金等の予算化を求めていかななくてはなりません。なお、本県の鉱工業生産指数につつま

しては、後ほど「復興のあゆみ」に関する説明の際に改めて申し上げたいと思います。

4点目、「復興事業のあり方」ということで、今後5年間の復興事業のあり方について取りまとめがなされておりますが、今後検討するということで委ねられている積み残し部分について、我々としても政府に予算化を求めていかなければなりません。

最後に、5点目「平成27年度末で期限が到来する課税の特例」ということで、予算だけでなく、復興特区法等に基づく課税の特例については、今年度で期限が切れるものが非常に多くございますので、これについても延長要望をしていかななくてはならないということでございます。この点については、以上でございます。

#### **【副知事】**

ただ今の説明について、皆さんから何かありますか。

では、知事からお願いいたします。

#### **【知事】**

福島復興を加速化させるために、この4ヶ月間でも、福島復興再生特別措置法の改正、イノベーション・コースト構想の具体化、そして、福島12市町村の将来像の検討など、具体的な取組を進めてきました。提言された将来像等を実現させていくためにも、最も重要なポイントは、財源措置であります。

特に平成28年度予算は、新しくスタートする復興・創生期間の第一歩となる予算であり、極めて大切であります。私自身も、今後開かれる復興再生協議会の場などにおいて、国に対し、福島の現状あるいは県民の思いを強く訴えていきますので、皆さんも予算の確保あるいは税制改正の実現に向け、しっかりと取り組んでいただきたいと思います。

#### **【副知事】**

次に、報告事項に入ります。

まず、「富岡町復興整備協議会の設立について」、企画調整部長。

#### **【企画調整部長】**

資料2-1をお開きください。

富岡町の復興整備協議会の設立についてでございます。これまで、津波被災地域におきましては、復興特区法に基づく復興整備計画を策定し、農地転用の特例措置等、土地利用のワンストップ化を進めてきたところでございます。

これまで復興特区法に基づく復興整備計画を作成した市町村については、資料2-2にまとめておりますが、今般、富岡町が県内で11番目に復興整備協議会を立ち上げ、復興整備計画を策定する運びとなりました。協議会の立ち上げは、来週8月13日（木）を予定しております。

具体的な内容につきましては、資料2-3をお開きください。資料で黄色に塗られているところが現在の富岡駅前交通広場ですが、これを北に移転することになっており、関連する都市計画事業の変更手続きを行うための協議会を立ち上げるということになっております。

資料2-2に戻っていただきますと、地図の色の薄い地域では、計画が未策定となっておりますので、引き続き、地域の復興が加速できるよう、協議会の手続きに入れるように取り組んでまいりたいと思っております。

#### 【副知事】

今の説明について、何かありますか。  
なければ、知事からお願いいたします。

#### 【知事】

このたび、帰還困難区域を抱えている富岡町が復興整備計画を策定することとなり、富岡町の復興に向けた大きな一歩が踏み出されたところであります。

また、先週新しく設立されました再エネ復興推進協議会においても、富岡町の再エネ復興支援事業について約20メガワットの太陽光発電事業を採択することを発表いたしました。これから、避難地域の復興を更に加速すべく、全庁を挙げて取り組んでいただきたいと思います。

#### 【副知事】

続きまして、報告事項の2つ目、「ふくしま復興のあゆみについて」、企画調整部長。

#### 【企画調整部長】

ご案内のとおり、「ふくしま復興のあゆみ」は、四半期ごとに更新をしているものでございまして、前回、4月21日に発表した第11版以降の時点更新が今回の主な内容となっております。主な変更点について、かいつまんで申し上げます。

3ページをお開きください。避難指示の解除等の動きとしては、檜葉町の避難指示が9月5日に解除される見込みということで、今回記載させていただいております。その下、「県立大野病院附属ふたば復興診療所（仮称）」を檜葉

町に整備し、来年2月開所予定ということについても、今回加えさせていただいております。同じページには、避難者の推移を掲載しておりますが、今年6月時点で避難者数が110,726人となっており、前回3月時点では116,284人でしたので、この3ヶ月で約5,600人の減少となっております。

5ページをお開きください。市町村の除染関係について記載しております。市町村除染地域における除染実施状況として、住宅除染は263,757戸ということで、前回の27年2月末の調査では、215,126戸でしたから、48,631戸の除染が行われたこととなります。同様に公共施設等の除染については8,070施設と、これも前回から1,288施設増加した状況となっております。

6ページをお開きください。今回新たに、仮置場等の設置状況を加えておりますが、平成27年3月31日現在、102,093箇所現場保管がされているという状況となっておりますので、ご紹介をしておきます。

12ページをお開きください。先ほど、予算のところでも少し触れましたが、本県の産業復興と雇用の状況について掲載しております。まず左側、県の産業別事業所数を載せておりますが、平成26年度、平成21年度比で88.5となっております。全国は平成26年度、平成21年度比95です。次に、右側に鉱工業生産指数の推移をグラフで載せております。直近の平成27年5月で、86.3となっており、これは平成22年を100とした場合の数値ですが、全国は97.2となっております。こういったマクロの数値で10ポイントくらい低いというのは結構深刻な数値であると思いますが、ファクトとして、まだ福島はこういう事態であるということをございます。以上でございます。

### 【知事】

「ふくしま復興のあゆみ」は、非常によくまとめられていると思います。初期の頃のあゆみに比べると、劇的に進化し、ボリュームも増えており、中身も見やすくなっています。そして、その時点で一番新しいものにリバイスされておりますので、各部局がいろいろな場面でこれをぜひ活用していただきたいと思っております。

更に大事なのは、前半の方で、企画調整部長が変更した部分の明るいニュース、いい話を紹介してくれました。一方で、鉱工業生産指数を始め、実は福島の復興が全て順調にいつているわけではなくて、一進一退しているんだというところも出てまいります。こういったデータ、ファクトを頭に入れながら、例えば、国との予算の交渉、または税制改正の要望の場面で、全てが順調にいつているわけではない一方で、思ったより上手くいつているところももちろんあ

りますので、その光と影の両方を正確に捉えながら、様々な形で情報発信をする、あるいは政府との交渉をすることが我々には重要だと思います。そういう意味でもこの「復興のあゆみ」は非常に役立つので、ぜひ皆さん読み込んで活用していただければと思います。

**【畠副知事】**

ありがとうございました。

以上で、復興推進本部会議を終了します。